

# 特別支援教育の充実を目指して

学校全体で特別支援教育に取り組むための  
小・中学校全ての教職員用パンフレット

～特別支援学級の子供たちの学びを支える基本的な考え方～

- 1 実態把握
- 2 教育的ニーズ
- 3 学習内容
- 4 教科書
- 5 自立活動
- 6 各教科等を合わせた指導
- 7 時間割
- 8 実践と評価
- 9 個別の教育支援計画と個別の指導計画

これだけは  
知っておきたい



# Ⅰ 実態把握

はじめに子供の実態把握をし

教育的ニーズを踏まえた上で将来を見据え

今、子供にとって必要な学習内容を考えましょう！



本人や保護者の話に  
耳を傾けることから  
スタート

□ どのような子供なのかを理解する。

・生育歴

・既往歴

・行動の特性

・好きなこと

・既習状況 etc…



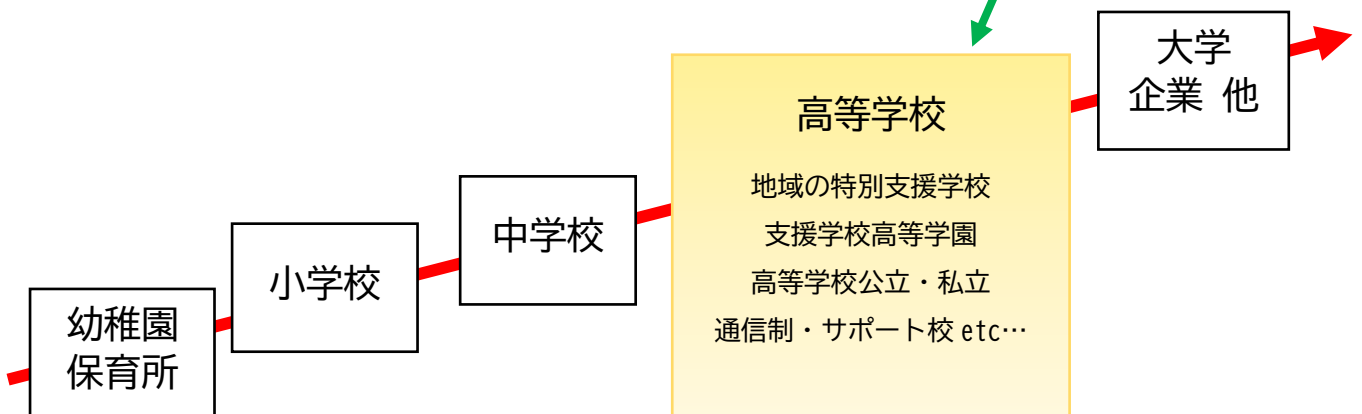
□ 本人・保護者の「教育的ニーズ」を把握する。

・本人のねがい

・保護者のねがい

教育的ニーズを整理する際、  
大切にしなければならないこ  
とは、子供の自立と社会参加  
を見据え、その時点でその子  
供に最も必要な教育を提供す  
ることです。

義務教育段階では、中学校卒  
業後の進路先が一つのポイン  
トとなります。



### 【参考】教育的ニーズを整理するための調査事項の例（知的障害）

以下の資料は、知的障害のある子供の教育的ニーズを整理するため「①障害の状態等」「②特別な指導内容」「③教育上の合理的配慮を含む必要な支援の内容」の三つの観点を踏まえて調査票の参考例として示したものです。

実際の調査では、調査事項を追加する等工夫してください。

1 知的障害のある子供の教育的ニーズについて～教育的ニーズを整理するための観点～
① 知的障害の状態等の把握
医学的側面 [障害に関する基礎的な情報の把握]
<input type="checkbox"/> 既往・生育歴
<input type="checkbox"/> 知的機能の発達の遅れ
<input type="checkbox"/> 適応行動の困難さ
<input type="checkbox"/> 知的発達の明らかな遅れと適応行動の困難さを伴う状態
<input type="checkbox"/> 知的機能の障害の発現時期
<input type="checkbox"/> 併存症と合併症
心理学的, 教育的側面 [発達の状態等に関すること]
<input type="checkbox"/> 身辺自立
<input type="checkbox"/> 社会生活能力
<input type="checkbox"/> 社会性
<input type="checkbox"/> 学習技能
<input type="checkbox"/> 運動機能
<input type="checkbox"/> 意思の伝達能力と手段
心理学的, 教育的側面 [本人の障害の状態等に関すること]
<input type="checkbox"/> 学習意欲, 学習に対する取組の姿勢や学習内容の習得の状況
<input type="checkbox"/> 自立への意欲
<input type="checkbox"/> 対人関係
<input type="checkbox"/> 身体の動き
<input type="checkbox"/> 自己の理解
心理学的, 教育的側面 [諸検査等の実施に関すること]
<input type="checkbox"/> 行動観察
<input type="checkbox"/> 検査の結果
心理学的, 教育的側面 [幼稚園・保育所等からの情報の把握に関すること]
<input type="checkbox"/> 学校での集団生活に向けた情報
<input type="checkbox"/> 成長過程

② 知的障害のある子供に対する特別な指導内容	
<input type="checkbox"/>	障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するための知識・技能・態度及び習慣に関すること
<input type="checkbox"/>	自己の理解と行動の調整に関すること
<input type="checkbox"/>	感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること
<input type="checkbox"/>	認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること
<input type="checkbox"/>	姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること
<input type="checkbox"/>	作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること
<input type="checkbox"/>	コミュニケーションの基礎的能力に関すること
<input type="checkbox"/>	コミュニケーション手段の選択と活用に関すること
③ 知的障害のある子供の教育における合理的配慮を含む必要な支援の内容	
ア 教育内容・方法	
(ア) 教育内容	
<input type="checkbox"/>	A 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮
<input type="checkbox"/>	B 学習内容の変更・調整
(イ) 教育方法	
<input type="checkbox"/>	A 情報・コミュニケーション及び教材の配慮
<input type="checkbox"/>	B 学習機会や体験の確保
<input type="checkbox"/>	C 心理面・健康面の配慮
イ 支援体制	
<input type="checkbox"/>	(ア) 専門性のある指導体制の整備
<input type="checkbox"/>	(イ) 子供, 教職員, 保護者, 地域の理解啓発を図るための配慮
<input type="checkbox"/>	(ウ) 災害等の支援体制の整備
ウ 施設・設備	
<input type="checkbox"/>	(ア) 校内環境のバリアフリー化
<input type="checkbox"/>	(イ) 発達, 障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮
<input type="checkbox"/>	(ウ) 災害等への対応に必要な施設・設備の配慮
2 学校や学びの場について	
<input type="checkbox"/>	設置者の受け入れ体制
<input type="checkbox"/>	小・中学校の状況
<input type="checkbox"/>	本人・保護者の希望
<input type="checkbox"/>	希望する学校, 教育の場
<input type="checkbox"/>	希望する通学方法
3 その他	
<input type="checkbox"/>	併せ有する他の障害の有無と障害種



出典:文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 R3.6[障害のある子供の教育支援の手引き~子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて~]

## 2 教育的ニーズ

教育的ニーズは3つの観点で整理します。

- ① 障害の状態等
  - 医学的側面からの把握
  - 心理的・教育的側面からの把握
- ② 特別な指導内容
  - 就学前までに特別に必要とされる養育の内容
  - 義務教育段階において特別に必要とされる指導内容
- ③ 教育上の合理的配慮を含む必要な支援の内容
  - 合理的配慮の観点による配慮の検討



## 3 学習内容

子供の実態を考え一年間を見通した計画を考えます。

- 学年相応の内容を学習する教科は何にするか。
- 下学年適応は取り入れるか。
- 知的特別支援学校の指導内容を取り入れるか。
- 教科用図書は何を使用するか。
- 交流及び共同学習はどの程度実施するか。



※ 知的特別支援学校の指導内容を取り入れる際には、地域の特別支援学校の特別支援教育コーディネーター等に相談してみると良いです。

## 4 教科書

校内教育支援委員会等で、子供たちが使用する教科書について話し合い、実態に合った物を選び、年度毎に引き継いでいくことが望ましいです。

～ 考え方の順序 ～

- ① 文科省検定済教科書での学習
- ② ①が難しい場合 → 下学年の文科省検定済教科書を検討
- ③ ②が難しい場合 → 特別支援学校用文科省著作教科書を検討
- ④ ③が難しい場合 → 学校教育法附則第9条第1項に基づく教科書を検討



## 5 自立活動

自立活動とは、個々の児童生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基礎を培うことを目標としています。

- 1 健康の保持
- 2 心理的な安定
- 3 人間関係の形成
- 4 環境の把握
- 5 身体の動き
- 6 コミュニケーション



指導に当たっては自立活動だけの個別の指導計画を作成する必要があります。



※ 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説〔自立活動編〕に、個別の指導計画の作成方法等詳しく書かれています。

## 6 各教科等を合わせた指導

知的障害のある児童生徒に対して、各教科、道徳、特別活動及び自立活動の一部又は全部を合わせて指導をする形態のことです。

### 日常生活の指導

日常生活が充実し、高まるように日常生活の諸活動について学習します。

### 遊びの指導

遊びを学習活動の中心に据えて取り組み、身体活動を活発にし、仲間とのかかわりを促し、意欲的な活動をはぐくみ、心身の発達を促していきます。

### 生活単元学習

生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために実際の・総合的に学習します。

### 作業学習

作業活動を学習活動の中心にしながら、働く意欲を培い将来の職業生活や自立に必要な事柄を総合的に学習します。

※ 特別支援学校学習指導要領解説〔各教科等編〕（小学部・中学部）P26～P36に詳しく書かれています。



## 7 時間割について

特別教室や体育館等の空き状況を確認し、使える教室を計画的に時間割に組み込んでおくと、充実した活動につながります。

- 子供の実態に合わせて一週間をとおして無理のない時間割を設定します。
- 交流及び共同学習をスムーズに行うための時間配分を考えます。



## [例] 知的特別支援学級（中学校）

### 時間割

	月	火	水	木	金
1	学活	日常生活の指導		道徳(交流)	自立活動
2	作業 A	生活単元 学習	作業 B (農業)	生活単元 学習	作業 C (木工)
3	(流通・サービス)		音楽(交流)		技術・家庭(交流)
4	保健体育(交流)				
5	国語	数学	国語	数学	総合的な学習 の時間(交流)
6	美術	保健体育(交流)	技術・家庭(交流)	保健体育(交流)	

### 年間指導計画（夏休み前まで）

月		4	5	6	7
行事	学校	入学式	生徒総会	中総体	
	学級	学級開き	・地域の支援学級の集まり		・学校見学
指導の形態		学習内容			
各教科 等を含 わせた 指導	日常生活の指導	・着替え等の身辺自立	・教室内の整理整頓	・学習の準備 等	
	生活単元学習	・学校見学にてかけよう	・地域の支援学級の集まりで発表しよう		
	作業 A	・校舎内外の清掃 等			
	作業 B	・学級菜園の管理（作った物を校内で販売）			
	作業 C	・木工製品を作成（作った物を校内で販売）			
各教科 別の 指導	国語	・漢字の読み書き, 文章の読み書き（高等部で必要な国語の力を付ける。）			
	数学	・四則の計算, 図形の理解（高等部で必要な数学の力を付ける。）			
	音楽	・協力学級と同じ学習内容（本人に合った目標設定と支援）			
	美術				
	保健体育				
	技術・家庭	※特別支援学級の学級担任や, 支援員, T2 による支援が必要			
	外国語	・簡単な挨拶を覚えよう	・生活に必要な英語を覚えよう		
道徳	・協力学級と同じ学習内容（本人に合った目標設定と支援が必要）				
自立活動		・場に応じた挨拶や話し方を覚えよう	・自分の気持ちをきちんと伝えよう		
特別活動		・学級目標や係活動を決めよう	・生徒総会に向けて準備しよう		
総合的な学習の時間		・協力学級と同じ学習内容（本人に合った目標設定と支援が必要）			

## 8 実践と評価

授業がスタートしたらそこで終わりではありません。

- 授業者同士で情報交換をすることはもちろん、節目で振り返りをし、学習内容や指導形態等について本人や保護者と相談し、よりよいものを目指します。
- 「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」は加除修正していきます。

## 9 個別の教育支援計画と個別の指導計画

作成だけではなく、PDCAのサイクルの中で「活用」することが求められています。

→ 一年間の節目、節目（長期休みの前等）で、本人や保護者と現在の実践について話し合いを行います。

→ 「活用」しやすい様子を学校で工夫してみましょう。

- ※ 様式や作成・活用については、令和3年宮城県教育委員会発行の「就学前からつくる個別の教育支援計画“つなげるための作り方と使い方”」を参照してください。未就学のお子さん対象ですが、小・中学校でも活用できる内容となっています。



### 参考資料

- ◇ 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 R3.6  
[障害のある子供の教育支援の手引き～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～]
- ◇ 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説[自立活動編] H30.3
- ◇ 特別支援学校学習指導要領解説[各教科等編]（小学部・中学部） H30.3
- ◇ 宮城県教育委員会 R3.3 就学前からつくる個別の教育支援計画つなげるための作り方と使い方
- ◇ 島根県教育センター H31.3 [特別支援学級の教育課程について悩んでいませんか?]
- ◇ 沖縄県教育委員会 R2.3 [特別支援教育の充実を目指して～特別支援学級の担任編～]
- ◇ 岩手県立総合教育センター H30年度版 [特別支援学級経営の手引き]
- ◇ 秋田県総合教育センター H29.4 [特別支援学級新担任の手引き 改訂版]

～ 本パンフレットに関するお問い合わせ ～

宮城県教育庁特別支援教育課 教育指導班

TEL：022-211-3647 FAX：022-211-3827